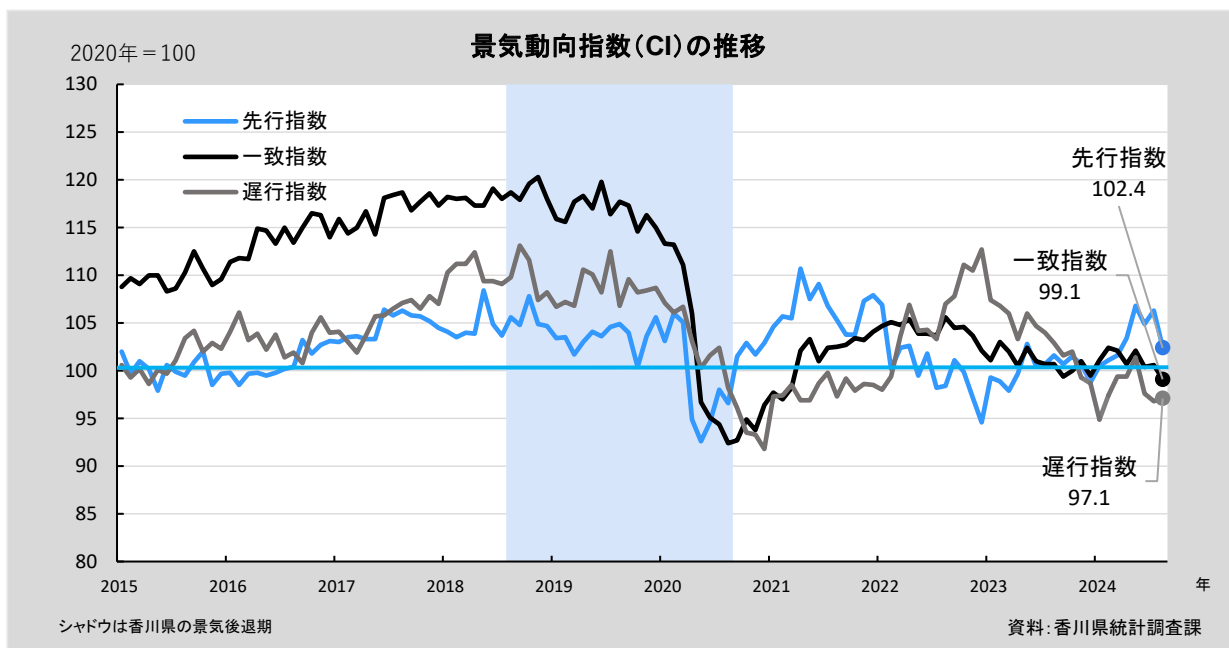


概況	緩やかに持ち直している。
個人消費	堅調に推移している。
住宅投資	低調に推移している。
公共投資	持ち直している。
生産活動	横ばい圏内の動きとなっている。
雇用情勢	緩やかに持ち直している。
貿易	輸出は減少、輸入は増加している。
観光	持ち直しの動きが続いている。

景気動向指数(かがわ CI) 一致指数 2カ月ぶり下降



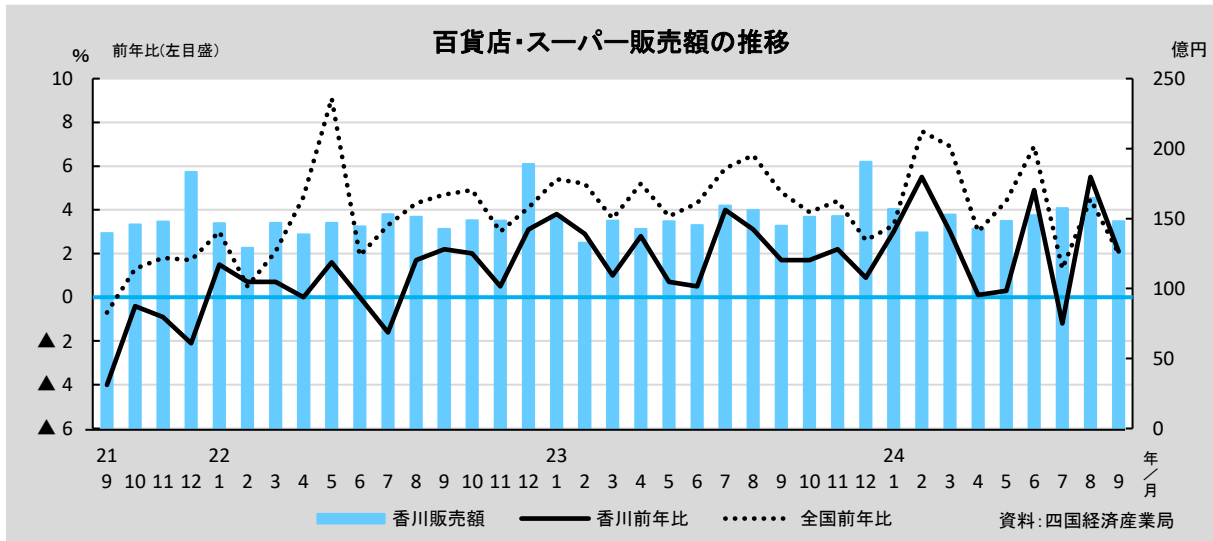
景気の現状をみると、8月のCI一致指数は99.1（前月比▲1.5ポイント）と2カ月ぶりに下降。CI先行指数は102.4（同▲3.9ポイント）と2カ月ぶりに下降。CI遅行指数は97.1（同+0.3ポイント）と3カ月ぶりに上昇。

景気の現状を示す一致系列の個別指標では、所定外労働時間指数、鉱工業生産指数等が下降に寄与し、前月から1.5ポイント下降となった。

	先行系列	寄与度	一致系列	寄与度	遅行系列	寄与度
採用 景気 指標	1 新規求人数	0.37	1 雇用保険受給者実人員	0.32	1 常用雇用指数	▲ 0.23
	2 乗用車新車登録台数	0.11	2 有効求人倍率	0.14	2 有効求職者数	0.12
	3 鉱工業在庫率指数	▲ 1.94	3 所定外労働時間指数	▲ 1.07	3 消費者物価指数	▲ 0.27
	4 生産財生産指数	▲ 0.58	4 鉱工業生産指数	▲ 0.98	4 家計消費支出	1.19
	5 新設住宅着工戸数	▲ 1.33	5 鉱工業出荷指数	▲ 0.10	5 鉱工業在庫指数	▲ 0.47
	6 金融機関貸出残高	0.54	6 建築着工床面積	▲ 0.96	6 法人事業税調定額	0.55
	7 消費者態度指数	▲ 0.75	7 百貨店・スーパー既存店販売額	1.19	7 第3次産業活動指数	▲ 0.26

●百貨店・スーパー販売額

2 カ月連続増加 ↑

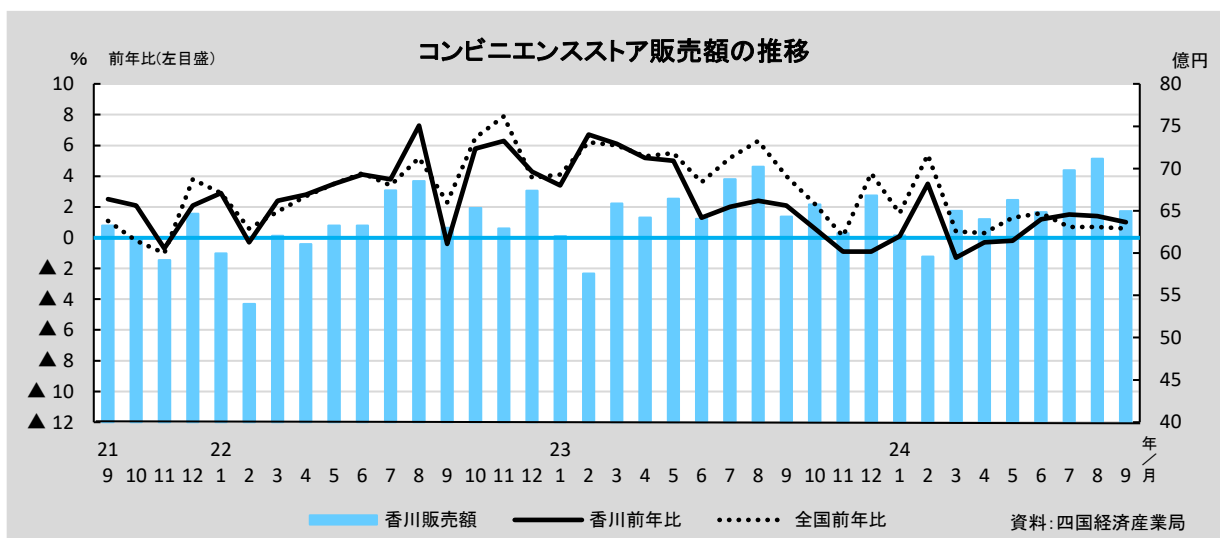


2024/9月	衣料品	身の回り品	飲食料品	家具	家庭用 電気機械器具	家庭用品	その他の商品	食堂・喫茶	合計
販売額(万円)	79,802	61,981	1,099,558	1,283	4,060	66,267	166,714	469	1,480,134
前年同月比(%)	▲ 3.9	4.6	1.6	▲ 11.3	▲ 1.2	5.4	6.9	▲ 4.5	2.1

9月の百貨店・スーパー全店(83店)の販売額は148.0億円で、前年同月比+2.1%と2カ月連続で増加した。「飲食料品」は気温が高めに推移したため、飲料やアイスクリームなどの夏物商材が伸長し同+1.6%、「その他の商品」は高級時計や宝飾品などが好調で同+6.9%となった。一方「衣料品」は秋物衣料の動きが鈍く同▲3.9%と減少した。

●コンビニエンスストア販売額

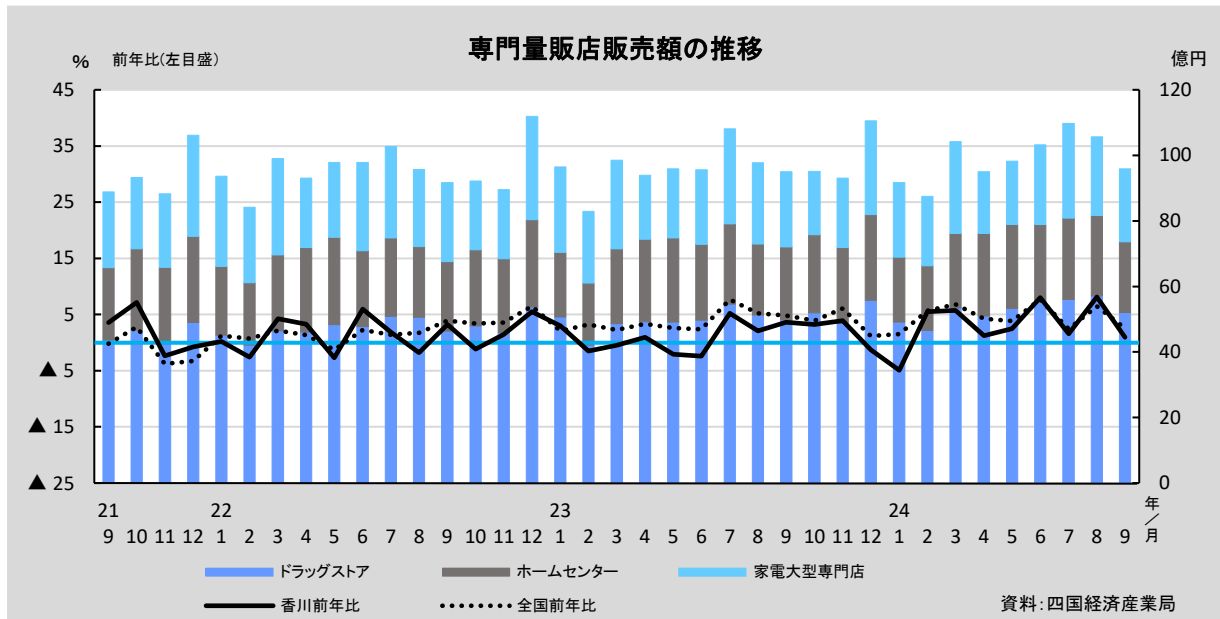
4 カ月連続増加 ↑



9月のコンビニエンスストア全店(406店)の販売額は65.0億円で、前年同月比+1.0%となり、4カ月連続で増加した。

●専門量販店販売額

8 カ月連続増加

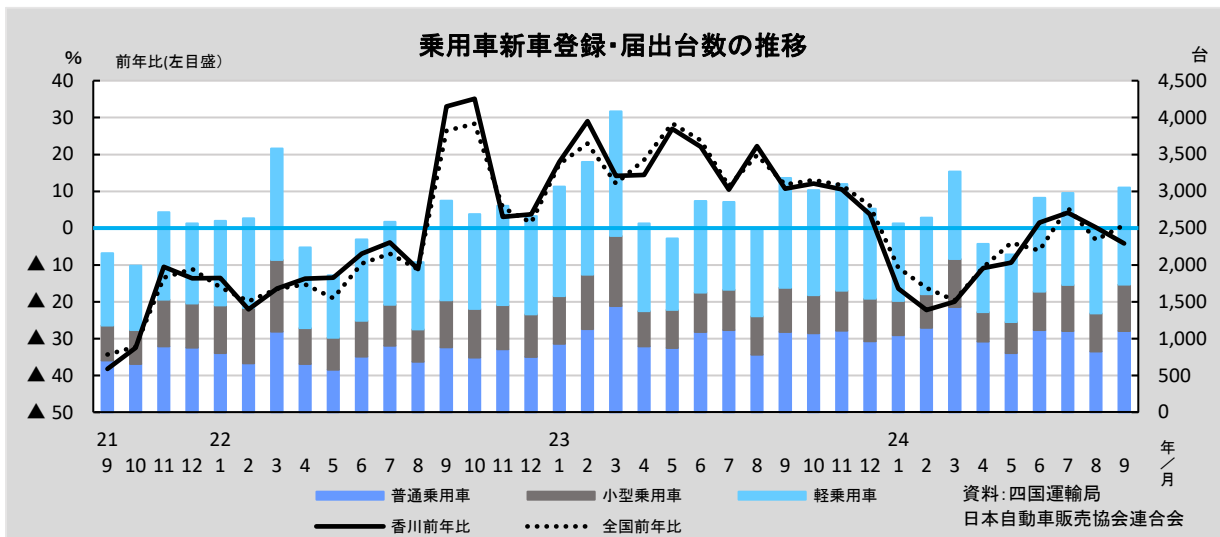


9月の専門量販店全店（222店）の販売額95.9億円で、前年同月比+0.9%と8カ月連続で増加した。

業態別にみると、**家電大型専門店**（28店）の販売額は、22.3億円で前年同月比▲2.8%となった。**ドラッグストア**（147店）の販売額は、52.1億円で同+4.6%となった。**ホームセンター**（47店）の販売額は、21.6億円で同▲3.4%となった。

●乗用車新車販売台数

4 カ月ぶり減少



9月の乗用車（普通・小型・軽）新車販売台数は3,051台で、前年同月比▲4.1%と4カ月ぶりに減少した。

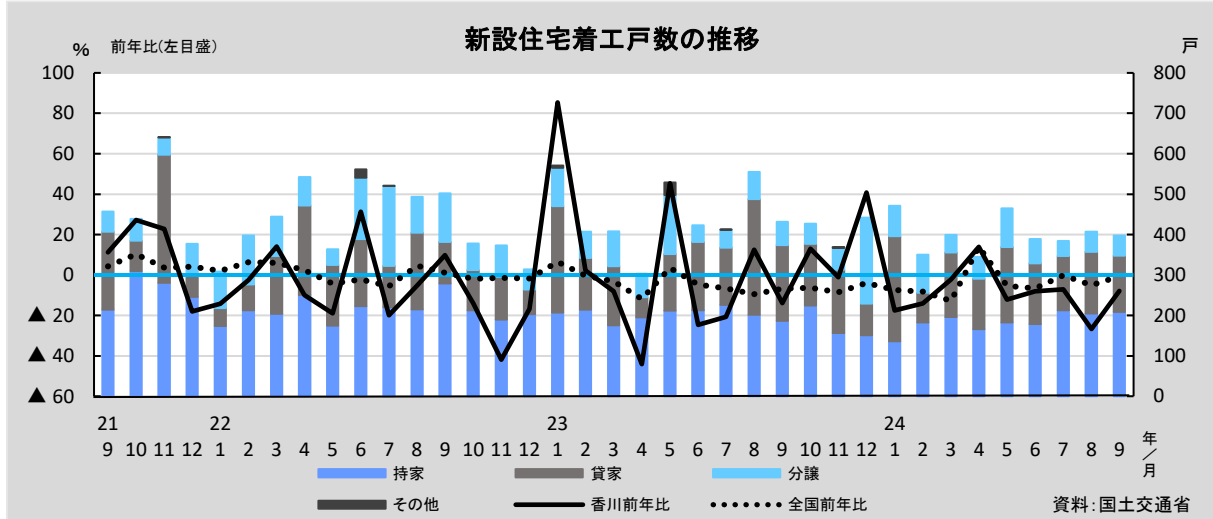
車種別にみると、普通乗用車は前年同月比+1.0%、小型乗用車は同+5.7%、軽乗用車は同▲11.9%となった。

住宅投資

低調に推移している

●新設住宅着工

5 カ月連続減少 ↓



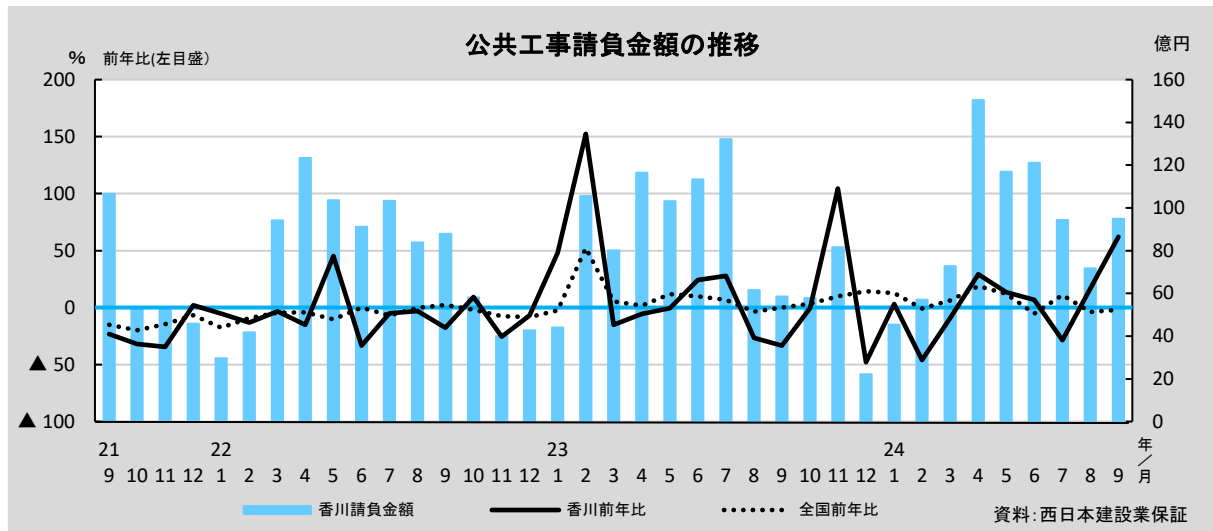
9月の新設住宅着工戸数は398戸で、前年同月比▲7.9%と5カ月連続で減少した。利用関係別にみると、**持家**で前年同月比+11.8%、**貸家**で同▲25.7%、**分譲住宅**で同▲13.8%となった。

公共投資

持ち直している

●公共工事請負金額

2 カ月連続増加 ↑



9月の公共工事請負金額は94.8億円で、前年同月比+62.0%と2カ月連続で増加した。発注者別にみると、**国・独立行政法人等**で前年同月比+108.3%、**県**で同+45.2%、**市町**で同+95.4%となった。

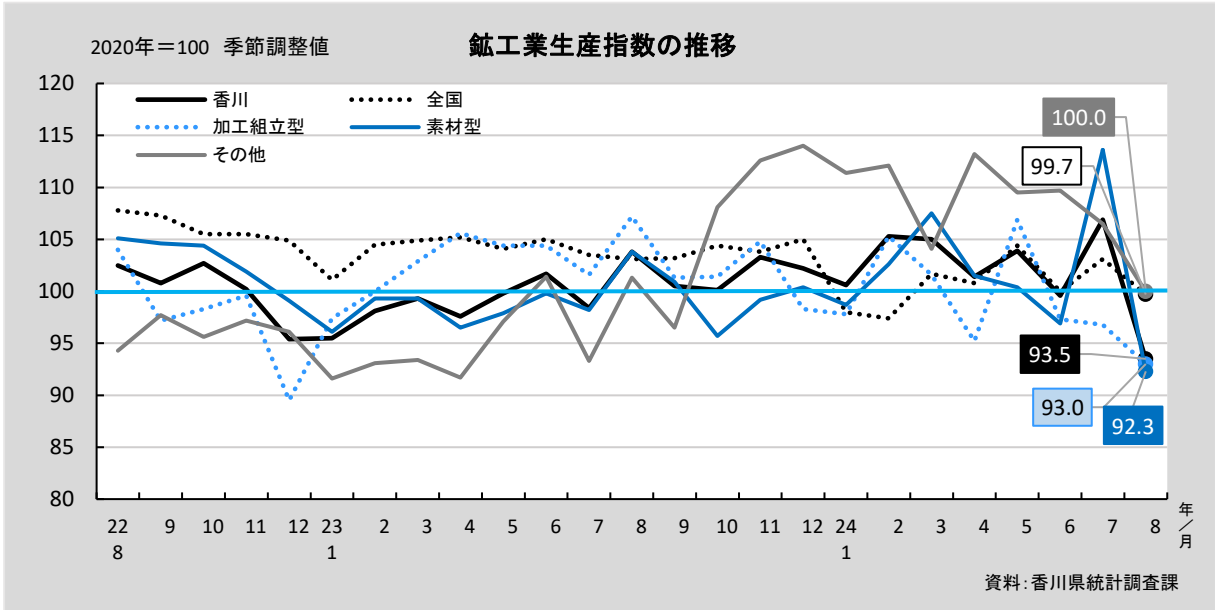
2024.4月～9月の累計では前年同期比11.0%増加している。

生産活動

横ばい圏内の動きとなっている

● 鉱工業生産指数

2カ月ぶり低下 ↓



8月の鉱工業生産指数（季節調整済指数）は93.5（前月106.9）となり、2カ月ぶりに低下した。

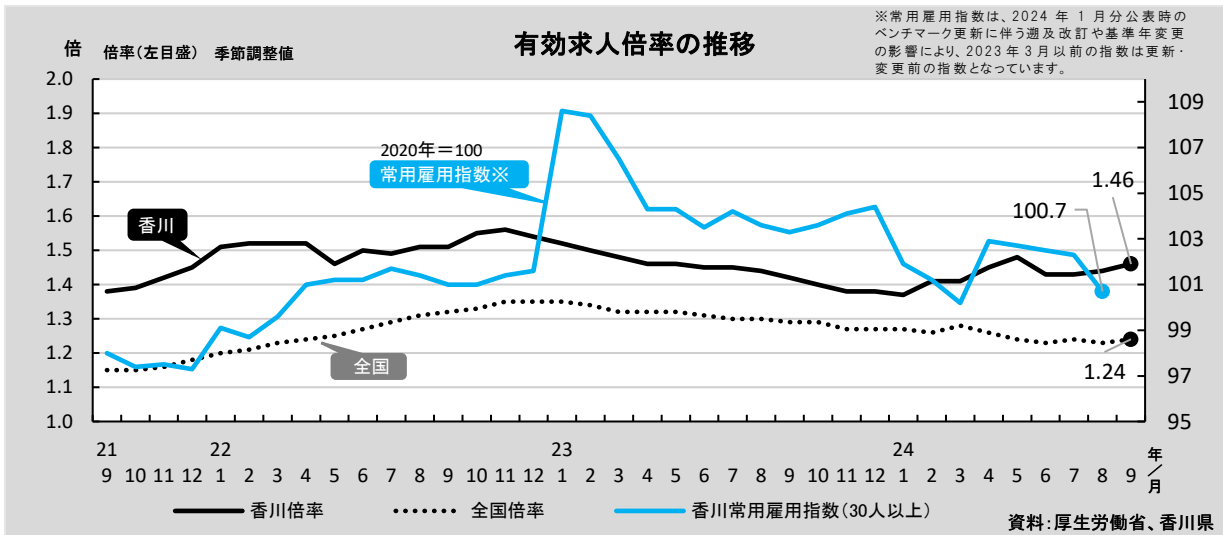
業種別では、素材型の化学・石油石炭製品工業（医薬品など）は前月比▲41.3%、加工組立型の汎用・生産用機械工業（建設用クレーンなど）は同▲11.1%と低下した。一方、その他業種の繊維工業（炭素繊維など）は同+14.1%と上昇した。

雇用情勢

緩やかに持ち直している

● 有効求人倍率

2カ月連続増加 ↑



9月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.46倍（全国6位）で前月より0.02ポイント上昇した。

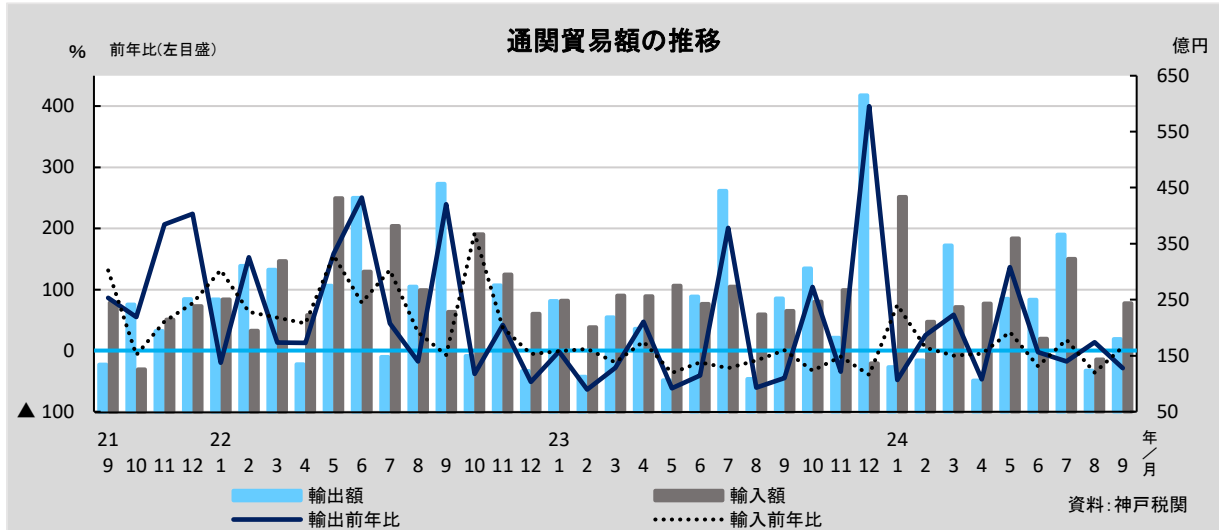
新規求人（原数値：前年同月比）は、製造業、宿泊業・飲食サービス業、建設業等で減少となり、全体で▲4.8%と3カ月ぶりに減少した。

8月の常用雇用指数（事業所規模30人以上）は、100.7となり、前年同月比は8カ月連続で減少した。

職業別常用有効求人倍率	倍
専門・技術的職業	2.12
事務的職業	0.60
販売の職業	2.30
サービスの職業	3.38
生産工程の職業	2.61
輸送・機械運転の職業	2.41
建設・採掘の職業	6.43
運搬・清掃・包装等の職業	1.29

貿易

輸出は減少、輸入は増加している



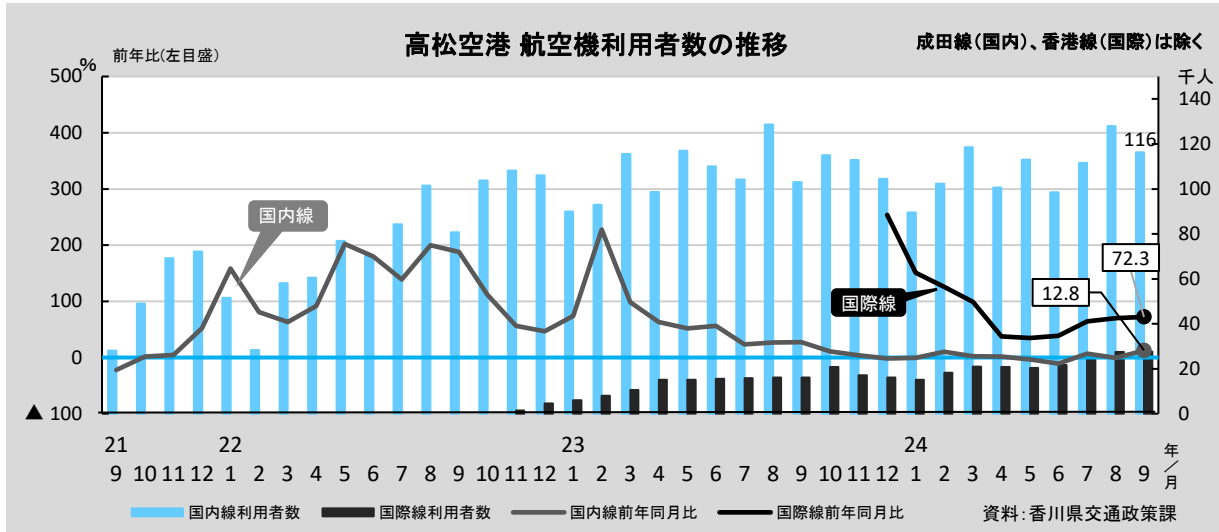
9月の輸出額は前年同月比▲28.5%の180.2億円、輸入額は同+6.0%の243.6億円となり、差し引き63.4億円の入超となっている。

輸出は、前年同月120億円だったタンカー輸出額がゼロとなった。輸入は、前年同月ゼロだった石油製品輸入額が7億円となり増加に寄与した。

交通

国内線は2カ月ぶり増加、国際線は11カ月連続増加

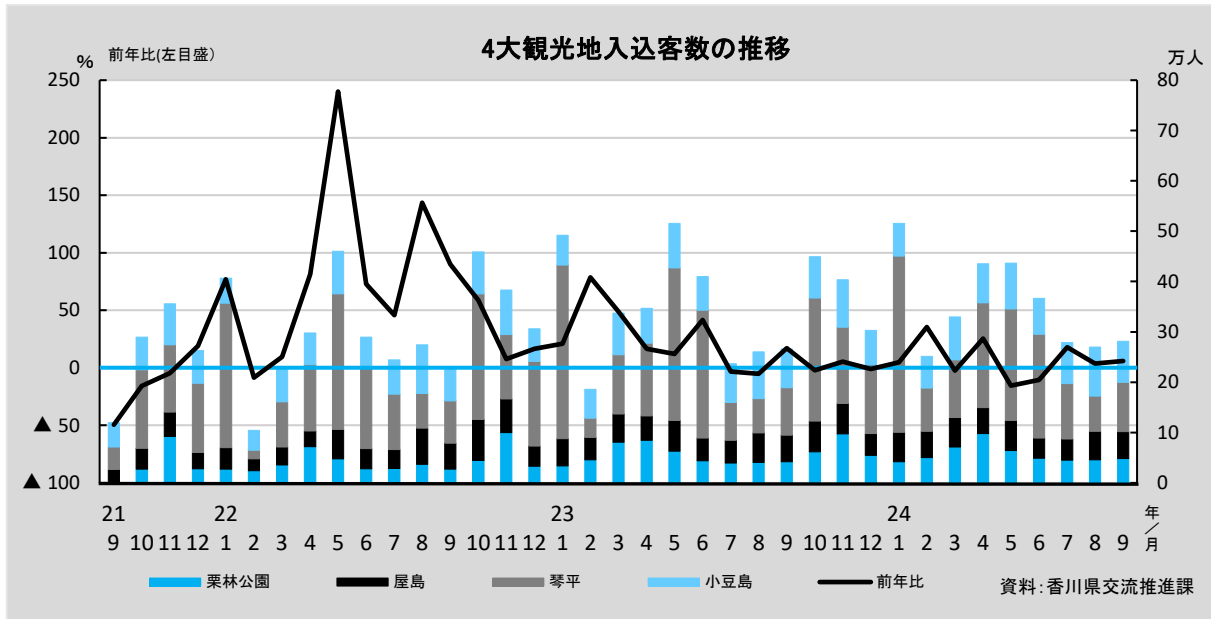
●高松空港旅客輸送実績



9月の航空機利用者数は、国内線(羽田・那覇線)が116,295人(前年同月比+12.8%)となり、2カ月ぶりに増加した。羽田線は107,881人(同+12.3%)、那覇線は8,414人(同+20.0%)となった。

国際線は、ソウル線17,089人(同+53.5%)、上海線5,272人、台北線5,360人(同+13.5%)で合計27,721人(同+72.3%)と11カ月連続で増加した。

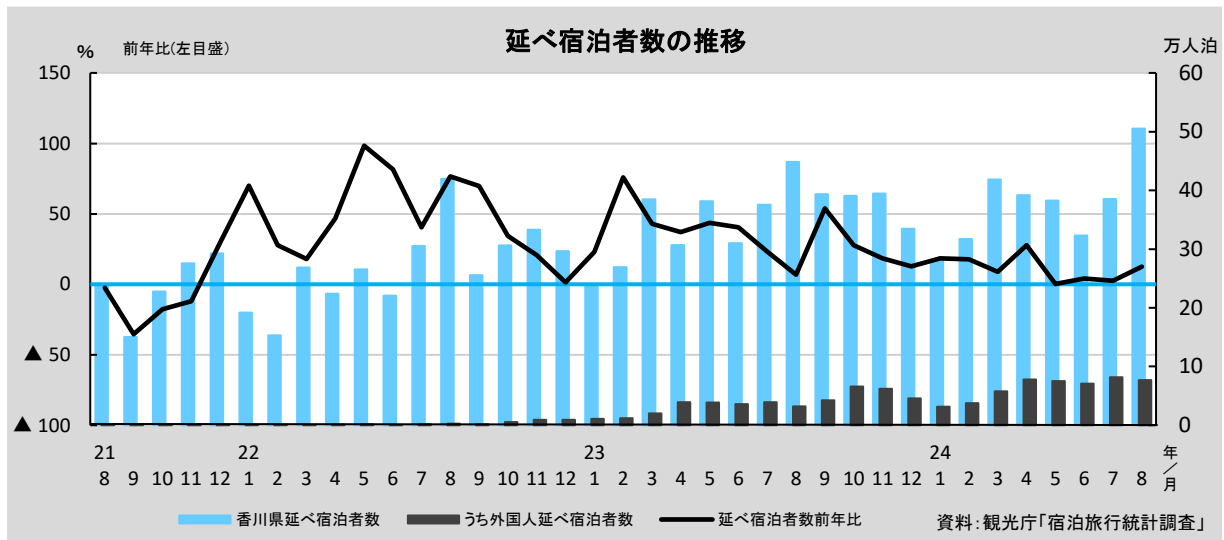
●主要観光地入込客数



観光地入込客数		栗林公園		屋島		琴平		小豆島		合計	
9月(人)	前年同月比	48,430	16.0%	53,136	0.4%	98,000	4.3%	81,829	6.1%	281,395	5.9%
1~9月累計(人)		513,470	8.5%	472,457	1.5%	1,465,000	1.8%	713,296	6.2%	3,164,223	3.8%

9月の主要観光地の入込客数は、前年同月比+5.9%と3カ月連続で増加した。栗林公園は前年同月比+16.0%、屋島は同+0.4%、琴平は同+4.3%、小豆島は同+6.1%と全て増加した。1~9月の累計では前年同期比+3.8%となった。

●延べ宿泊者数



8月の延べ宿泊者数は505,210人で、前年同月比+12.6%と33カ月連続で増加した。うち、外国人延べ宿泊者数76,900人となり、前年同月比+139.7%と25カ月連続で増加した。